

# 都市コン だより

2024年 10月号

都市計画コンサルタント協会関西地区協議会 特集

TOPIC 1 関西地区協議会の概要

TOPIC 2 自主研究「おだし研」

TOPIC 3 今後の展開

#### 表紙写真紹介

大阪中之島の水辺（株式会社アルテップ楠亀様撮影）

協会 HP フォトシェアサービスからの引用

フォトシェアサービスは、会員企業を対象として著作権フリー画像共有サイトです。

会員なら誰でも画像をダウンロード、アップロードできます。

各種資料、報告書作成等には是非ご活用ください。



都市コン フォトシェア

検索



## TOPIC 1 関西地区協議会の概要

関西地区協議会では、9社10名のメンバーで構成される世話人会を概ね2ヶ月に1回開催し、情報交換や研究等の活動を行っています。また、まちや都市に関する自主研究は、じっくり時間をかけて探求しています。

都市計画コンサルタント協会の活動のなかでも常に話題性のある取組みを行われている関西地区協議会にお話を伺いました。

取材日:令和6年8月9日

取材場所:-SeekS×pot

対応者:関西地区協議会(山本氏、樋口氏、畠中氏)

取材者:編集チーム(須永、楠亀、村上)

### 1. 関西地区協議会設立のきっかけ

地域計画建築研究所（アルパック）の杉原氏（現在顧問）が十数年前に、関西地区の都市計画コンサルタント協会会員企業に、業界としての勉強会を設けたいと声掛けして、関西地区協議会が発足しました。

### 2. 活動内容

関西地区協議会という地域なので、比較的自由に活動していますが、世話人会を概ね2ヶ月に1回（年度末を除き年5回）開催し、総会は年に1回開催しています。

世話人会は、情報交換や業務上の悩み相談をして、最後は懇親会というパターンです。懇親会ではどんどん話が盛り上がるため、懇親会が関西地区協議会の活動の幅を広げる重要な要素になっているかもしれません。

地区協議会の中にまちづくり技術者交流部会関西部会があり、2～3年毎にテーマを決めて各社の若手が中心となって研究しており、現在は「おだし研」（後述）として活動しています。

京阪グループの一部企業が大阪大学先導的学際研究機構と包括連携協定を2023年5月に締結し、会員企業である「かんこう」がその一員であることから、京阪シティモール7階にあるSeekS×potを使った活動を開始しました。

SeekS×potの場を活用して、関西の会員サービスの向上と外部団体との交流促進を図りたいと考えています。

### 3. 活動メンバー

関西地区の会員企業は26社程度ありますが、世話人会は、杉原さんの声掛けに応じた9社（オオバ、地域計画建築研究所、市浦ハウジング&プランニング、アール・アイ・イー、ヘッズ、パシフィックコンサルタンツ、かんこう、オリエンタルコンサルタンツ、安井建築設計事務所）の10名がメンバーです。

現在山本勝彦氏（安井建築設計事務所）が代表、坂井信行氏（地域計画建築研究所）が副代表を務めています。



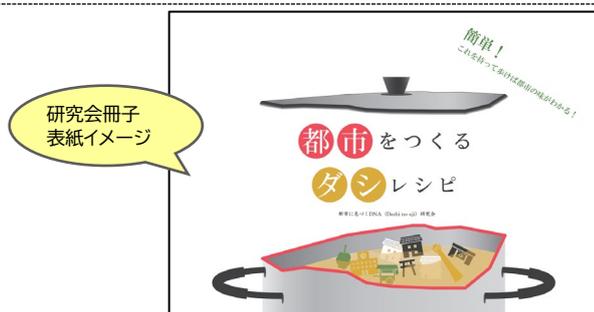
お話を伺った関西地区協議会のメンバー  
（上記写真、左から）

パシフィックコンサルタンツ株式会社 畠中誠司氏  
株式会社安井建築設計事務所 山本勝彦氏  
株式会社かんこう 樋口一雄氏

## TOPIC 2 自主研究「おだし研」

おだし研（都市に息づく *Dashi No Aji* 研究会）では、都市を料理に譬えた分析ツールを考案し、都市のDNA=だしの味（*Dashi No Aji*）を見つける、自主研究を行っています！

関西地区協議会では、自主研究を継続的に取り組んでおり、第4弾の自主研究「おだし研」について、研究リーダーの畠中氏にお話を伺いました。



### －「おだし研」の研究・取組内容とは？

料理は、出汁という下地に具材や調味料を入れ調理することにより味わいが出ます。いわば出汁は料理の決め手であり、各地方や家庭で受け継がれる、まさに<遺伝子>のような存在です。都市を料理に譬えると、人々にそのまちを印象づける、出汁に相当するものがあるのではないか、と仮定しました。それを「都市に息づくDNA-だしの味」と呼んでいます。

このように都市の「出汁」というものを仮定して、フィールドワークをし、「おだしーと」というツールで分析しています。大阪環状線の駅をメンバーで分担し、各駅持ち回りでまとめました。

### －ユニークすぎる！なぜそのような研究を？

若手中心の研究活動として「都市の彩り研究会」を2年半、「都市の聖地づくり研究会」を4年半行いました。その後、くじで私（パシフィックコンサルタンツ、畠中氏）がリーダーに決まりました。「聖なるあみだくじ」と呼んでいるんですけど（笑）。

その頃、私は都市のDNAというものに興味があって、一方で、各地域の料理としての出汁を研究したいという人もいたんですね。

そこで、それらをクロスオーバーさせたアイ

デアになりました。

都市の「出汁」の存在を仮定すると、みんな、このまちは出汁が効いてるとか効いてないとか、勝手に語りだすのが面白くて、ちゃんと整理するためフィールドワークを始めました。

### －研究を始めてからのプロセスは？

最初の1年間は出汁自体の研究を行いました。要は、出汁にも色々種類がある。時間をかけて出汁のもとを作り、煮出して出汁をとる和風だしを、都市の「出汁」と対比するのが良いのではないかと思いました。

### －出汁をどう分析に活かすのですか？

フィールドワークでの気づきを「おだしーと」というツールにまとめます。料理でいうところのうまみ、うまみの元となる出汁、具材、調味料、盛り付け方、総じて誰にとって美味しいと感じる都市か、といったことを書き、研究会で議論しました。こういったプロセスを「だしあわせ」と呼んで、大阪の環状線の駅周辺を対象に行いました。

また、縦軸を出汁のうま味の強さ、横軸を出汁の雑味の強さとした「環状線お出汁ポジショニングマップ」なるものも作成し、各駅周辺のポジショニングを行おうとしています。

### －メンバーや活動頻度は？

メンバーは、世話人会の方が各々の会社の若手に声をかけて集まったのが中心だと思います。会議は大体1か月半に1度で、10～15人程度が対面またはオンラインで参加してくれています。

### －今後のイメージは？

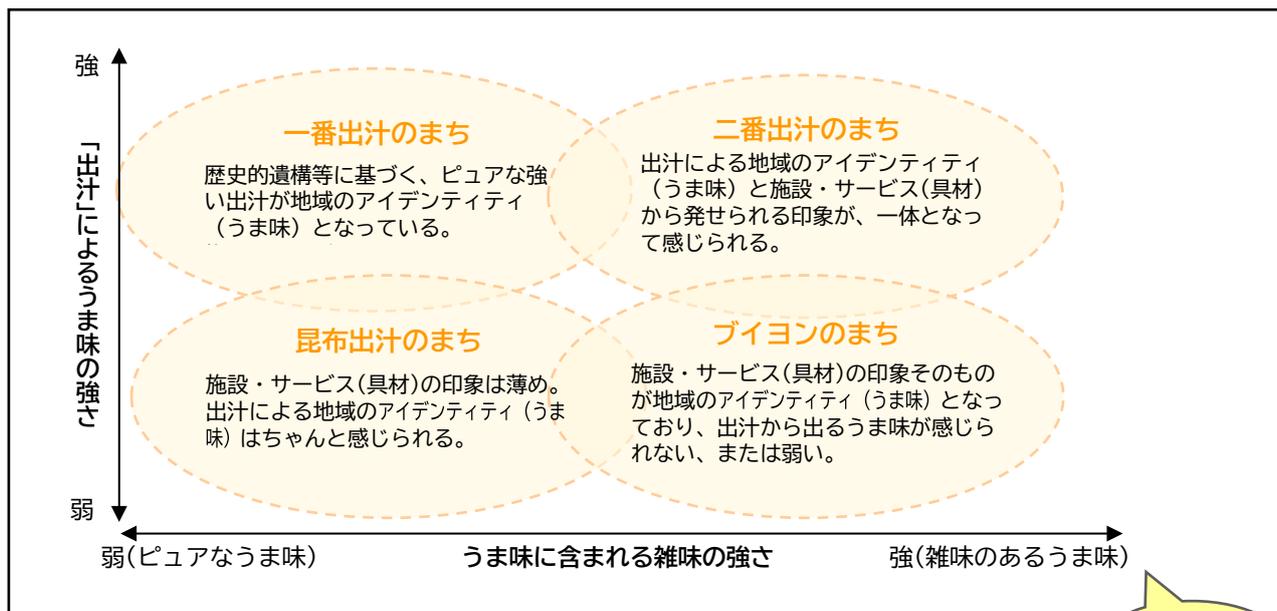
数年活動しているので、次のテーマに移ろうと思っています。面白がってくれる人にはどんどん伝えたいので、冊子にまとめる予定です。

■「おだしーと」の構成と分析方法（例）

料理上の分類	都市上の分類	〇〇町
原料	素材・資源	地形地物、歴史的遺構、地勢的・歴史的背景 等
出汁のもと	うま味のもと	狭隘路地、町割り、生活文化、コミュニティ 等
出汁(うま味)	心身で感じる印象	雑踏、独自文化 等
調味料	都市の方向性	にぎやか、濃い、伝統的 等
スパイス	特異、異彩を放つ資源	怪しい、暗い、狭い 等
具材	都市機能・サービス	アーケード、飲食店、住宅、地域交流施設 等
盛り付け	施設、空間、土地利用、施設配置	商店街 等
おいしさ	都市の魅力	異国滞在感 等

調査員がフィールドワークで分析した「おだしーと」を持ち寄り、  
まちの出汁を決める『だしあわせ』

■まちの「お出汁」ポジショニングマップ（イメージ）



<編集部>  
東京山手線でもや  
ってみたい！

この手法は、まちを新しい視点で読み解きたい方や、一般の人と一緒に楽しくワークショップを行いたい方には、とても有効なツールとなっています。

取組や成果物に興味ある方は都市計画コンサルタント協会事務局までご連絡ください！

お出汁研の研究成果物は冊子として今秋とりまとめ予定です。

## TOPIC 3 今後の展開

活動しているメンバーは、仕事ではライバルであっても、同じ業界を盛り上げる仲間。仲間たちとともに、面白がれる場と輪を広げていきたい。

関西地区協議会が取り組んでいきたいことや、協会への期待などを伺いました。

### ー都市コン喫茶関西

都市懇サロンのような関西版として、現在、都市コン喫茶関西の企画が進行し、概ねの方向性が決まりました。

喫茶と言いながら、会場となる SeekS×pot では飲食が不可となっているため、当面はお茶もコーヒーも出ない喫茶になります。

ただ、そこは発想を変えて、会場で飲食できないのであれば、街中の喫茶店を借りてそこでやれないかと考えています。

都市コンのメンバーと喫茶店にきている一般のお客さんが、その都市を対象として何か面白い話題とかを議論する場ができるとよいと考えています。

さらには、そのうち、開催している喫茶店のマスターが都市計画コンサルタントの業界通になり、建築や都市計画を学ぶ学生が喫茶店のマスターに就職相談できるような形になるのが理想です。

都市計画コンサルタントの業界といっても、個人でやられている方もいれば、設計事務所があれば土木系もあり、学生さんにとって会社の違いがわかりにくい。インターンで実際体験して初めてこんな感じかって気付くわけです。

しかし、都市コン喫茶関西に行ったら、都市コンのメンバーが交代でそこにいたり、業界のことをよく知ってるマスターが、何をしたいのかと聞いてくれて、アドバイスしてくれるような都市計画を目指す人のそれこそ聖地みたいな場所になると面白いと思いませんか！

これらはまだまだ夢の段階ですけどね。

### ー協会への期待

都市計画コンサルタント協会の事務所は東京にあるため、どうしても企画が東京中心に偏り、関西に拠点があると参加できないことも多い。例えば国交省の若手技術者と交流会もあるが、在東京の会社とやっているのだから、関西には聞こえてこない。だからこそ関西は関西で自由にやらせてもらっています。

現在、都市計画コンサルタント協会の組織体制の中には総務部会、技術部会、情報部会など部会単位で活動していますが、関西だけがエリアの部会です。

東北はエリア部会が実際生まれつつありますが、九州や中国など、機運があるところにはエリア部会が立ち上がってほしい。

エリア部会がいくつもできれば、その親委員会をつくってエリア間の交流を促進させることで、それぞれが刺激を受け合う良い関係性が生まれ、個性的な活動が展開できていくと思います。

都市計画コンサルタント協会は、普段は仕事のライバルだけど、同じ業界を盛り上げていく人々が集まっている場だと思っています。自分たちが面白いと思える場と輪を広げ、最終的には若い世代や学生にとって、あの職業かっこいいよねとか、ああいう職業に憧れるよね、いうものにしていきたい。

今後も自分たちも楽しみ、業界も盛り上がる視点をもって、自由な活動を展開していきたいと考えています。

## — 主な活動状況報告 —

### ■ セミナー・講習会

都市計画コンサルタント協会では、会員それぞれの立場や技術力に応じた、幅広い研修会やセミナーを実施しています。今後実施してほしい企画等については、事務局までご連絡ください。

#### ・ファシリテーター養成講座

第1部 ファシリテートの基礎 令和6年8月23(金) 13:30~17:10  
(ファシリテーターの役割、ファシリテーターの現場/立場と価値観、まちづくりにおけるファシリテーション等)

第2部 ファシリテートの実践 令和6年9月11日(水) 13:00~16:50  
(まちづくりとワールドカフェ、ワールドカフェの実践、ワークショップファシリテーションの実技)

講師:(株)エンパブリック 代表取締役 広石 拓司 氏  
NPO 法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー(TFF) 理事長 手塚 佳代子 氏

#### ・第8回認定都市プランナー情報交流会

都市計画コンサルタント協会では、認定都市プランナー及び認定准都市プランナーの方々の継続学習の一環として「情報交流会」を開催し、都市プランナーに関わる新たな情報提供を実施するとともに、認定都市プランナー間の交流促進をしています。

令和6年9月24日(火) 14:00~16:30 公益財団法人都市計画協会 会議室&オンライン(Zoom)

- ・「認定都市プランナー」及び「e-job 事業」の運営状況報告、新都市計画 CPD の解説
- ・国土交通省の取り組み—デジタルテクノロジーを活用した都市づくり—  
国土交通省 都市局国際・デジタル政策課 デジタル情報活用推進室 企画専門官 村山弘晃氏

講演①事前復興から捉えた立地適正化計画弘前大学 特任教授 北原 啓司氏

講演② これまで取り組んできたことと認定都市プランナーに期待すること

#### ・都市懇サロン

概ね月に1回のペースで都市懇サロンを開催しています。これからの内容は「今後の予定」でご確認ください。

第283回(令和6年7月9日(火))

『生業・生活再建によるポスト近代復興の実現～ 日常のまちの課題解決も含めた創造的復興の推進～

講師:愛知工業大学 工学部建築学科 准教授 益尾 孝祐 先生

### ■ 協会活動

都市計画コンサルタント協会では、都市計画技術の向上並びに都市計画コンサルタント業務の健全な発展を図り、都市計画事業の進歩発展に寄与することを目的として、様々な活動を実施しております。

#### 総務委員会

##### ・東北地区協議会

・山形市文翔館周辺地区に現地視察会、中心市街地周辺地区社会実験の開催現地視察会を予定(10月9日調整中)

##### ・外部団体連携部会

- ・外部団体として、特定非営利活動法人シビル NPO 連携プラットフォーム、一般社団法人東京建築士会、認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会、ランドスケープコンサルタンツ協会との協定案文の調整がほぼ整い、今秋の締結をめざしている。
- ・まずは、各団体からメールマガジン、国土交通省の施策の紹介などの情報提供や各種イベント、講習会の紹介などを受け会員にネットで配信

## 企画運営委員会

### ・活動強化検討部会

大学生を対象に出前講座の実施(10/22)、まちあるきの実施(11/7)

## 情報委員会

- ・情報活用検討会議(令和6年9月18日):各委員会の活動状況を確認し、都市コンだよりの記事内容の意見交換
- ・都市コンだより【8月号】発行
- ・関西地区協議会へのヒアリング(8月9日)  
おだし研、関西地区の取組概要、シークススポット等についてのヒアリング結果は、関西地区特集としてとりまとめ予定

## 技術委員会

### ・都市計画コンサルタント業務評価・登録制度検討部会

- ・2024年度の評価依頼受付(受付期間:7月1日~8月31日)
- ・都市計画協会、日本都市計画学会、日本都市計画家協会、都市計画コンサルタント協会、国交省の情報発信媒体を活用し情報発信
- ・ejob事業運営委員会、ejob事業運営委員会事務局会議を開催
- ・第8回認定都市プランナー情報交流会(9/19)でejob事業の運営状況報告を予定
- ・ejob事業の持続的な運営のあり方について継続的に議論

## 事業委員会

### ・まちづくり技術者交流部会

- ・第1回部会の開催(7/17)今年度も次の2つの会を企画・実施することを確認
  - ①若手技術者交流会 ~楽しく学びながらネットワークを上げよう!~
  - ②まちづくり意見交換会 ~国交省職員の方々と中堅技術者との意見交換会~
- ・若手技術者交流会~楽しく学びながらネットワークを上げよう~は、9月~12月にかけて実施予定(3回程度)
- ・まちづくり意見交換会は、11月~2月にかけて実施予定(2回程度)

## 関西地区協議会

- ・おだし研とFICCT(大阪大学先導的学際研究機構)との意見交換会(6月26日)開催
- ・関西地区協議会&講習会(7月19日)開催
- ・関西地区世話人会;第3回(8月6日)開催
- ・情報委員会から関西の活動状況の取材受ける(8月9日)

## 協会設立50周年記念事業実行委員会

50周年記念事業として実施を予定している①シンポジウム・記念式典、②ワークショップ・座談会、③記念誌編纂・発刊について、各検討チームでの検討内容及び進捗状況等の説明、意見交換を行い、各事業の実施に向けた活動を進めている

- ・第4回委員会(令和6年7月24日)
- ・第5回委員会(令和6年9月4日)

## 協会ビジョン推進特別委員会

今後、協会として取り組みが必要な事項を洗い出し、その具体化方策について検討、特に、事務局の運営体制強化方策を検討

- ・第3回(令和6年7月10日)  
協会ビジョンに基づく協会活動と新たな協会体制案の具体化と今後の検討スケジュールの確認  
各委員会の委員長及び部長が参加する「協会ビジョン推進拡大委員会」の開催により方向性の明確化

## 専門家派遣制度特別委員会

- ・第3回委員会(令和6年7月2日)派遣先市町村を、岩沼市、白河市、小金井市、舞鶴市、境港市に内定
- ・第4回委員会(第1部:令和6年7月16日、第2部:7月18日)派遣先からの要請内容・課題、専門家の活動方針、専門家としての活動スケジュール等を確認
- ・第5回委員会(令和6年9月26日)各派遣自治体における活動状況・課題等の報告、必要な対応等の検討

## — 今後の予定 —

### ●令和6年度都市計画実務発表会

これからの都市づくり・地域づくり・まちづくりに向けた取り組みなどについての発表・意見交換を行うことを目的とし『多様化するまちづくりの課題に対応した新たな都市づくり』をテーマとして開催します。

令和6年10月25日(金)13:30~16:50 終了予定

開催方式: 会場+Web方式によるハイブリッド開催(ZOOMシステムを予定)

会場: 都市計画会館 3階 会議室(東京都千代田区紀尾井町 3-32)

(<https://www.toshicon.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/09/jitumuhappyou20240919.pdf>)

### ●都市懇サロン

都市懇サロンは、都市計画コンサルタント協会の会員の皆様などの勉強及び交流の場として、時流にあったテーマを各分野で活躍されている方にお話を伺う、気軽に参加できる場です。ご希望の方は下記URL等からお申込みください。会員以外の方も参加できます。

・第284回(令和6年10月8日(火)) : 芳賀・宇都宮LRT『ライトライン』の取組

講師: 宇都宮市建設部 LRT整備課協働広報室 室長 安保 雅仁 様

([https://www.toshicon.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/09/284saron20240905\\_2.pdf](https://www.toshicon.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/09/284saron20240905_2.pdf))

### ●令和6年度『都市計画実務者講習会』

本講習会は、これまで知ることが少なかった水災害に取り組む河川部局や都市部局の取組について把握するとともに、流域における水災害に対応した都市計画のあり方について、これからの都市計画実務者が熟知することが必要で、重要な知識を習得することを目的とするものです。是非、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

令和6年10月17日(木) 13:00~17:30 (受付開始 12:30~)

(1) 都市計画コンサルタント協会における検討の紹介

(2) 流域治水、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりに係る国土交通省における取組の紹介

(3) 取組事例の紹介

([https://www.toshicon.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/09/jitsumusya\\_koushu20240911.pdf](https://www.toshicon.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/09/jitsumusya_koushu20240911.pdf))

### ●令和6年度 技術士第二次試験 受験対策実践セミナー(建設部門 都市及び地方計画)

都市計画コンサルタント協会では、受験者のニーズに対応するため、第二次試験(都市及び地方計画)の受験準備として4つの対策メニュー[①~④]を用意致しました。実務経験豊かな、会員各社の優秀な技術士の方々に講師にお迎えして、制度に対応した実践向きの講習・添削指導・模擬面接指導を行います。「都市及び地方計画」を専門とする受験者の皆様には、是非受講されることをお勧め致します。

④模擬面接指導 11月中旬から11月下旬

([https://www.toshicon.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/02/2024\\_gijutsusi\\_seminarx.pdf](https://www.toshicon.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/02/2024_gijutsusi_seminarx.pdf))

発行元/事務局 一般社団法人都市計画コンサルタント協会  
〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目一番一八号 ハイツニュー平河3F  
Phone 03-3261-6058 Fax 03-3261-5082 E-mail info@toshicon.or.jp  
Website <http://www.toshicon.or.jp/>

編集責任者 朝倉博樹(情報委員会委員長)

編集チーム 須永和久、楠亀典之、日向野茂、藤野康、水野卓、村上峻、倉岡明子



協会ホームページ